

## アイヌ政策推進交付金事業計画

1 事業名	余市町アイヌ施策推進事業
2 事業の種類	(文化振興事業) (地域・産業振興事業) (コミュニティ活動支援事業)
3 事業の目的	地域に存するアイヌの歴史や文化等を保存・情報発信し、理解促進と地域の産業振興を活発化させ、次世代への継承や魅力ある地域社会の形成を目的とする。
4 事業の概要	<p>(2) 地域・産業振興事業</p> <p>① 定額タクシーによるアイヌ関連施設を巡る観光ルート周遊事業</p> <p>○ 事業実施主体 北海道余市町</p> <p>○ 事業の実施場所 余市町内</p> <p>○ 事業の実施期間 交付決定の日～令和 5 年 3 月</p> <p>○ 事業の内容と考え方 本町はニッカウキスキー余市蒸溜所やワイナリーを観光人気スポットとして年間 100 万人超の観光入込があり、北海道においては令和 2 年 7 月に白老町にウポポイがオープンしたことで道外からの観光客やコロナ終息後には国外からのアイヌ文化に興味のある観光客の増加が見込まれる。本町が有するアイヌ文化関連施設は全国的にも貴重な資料等を有しているが、これらの施設と観光人気スポットを巡る観光コースは距離の延長が長く、既存の路線バス等による乗り継ぎも不便であることから、観光客にとって利用し難いコースである。これについて、定額タクシーでの観光商品を開発し、自治体からの補助により公共交通等を利用する場合よりも低価格で利用できる商品とすることで、アイヌ文化に興味のある潜在的な観光客へのインセンティブを働かせる。 今年度は、タクシーに貼るステッカーの作成とアイヌ文化関連施設と観光スポットを巡る定額タクシーの運行を行う。</p> <p>② アイヌ文様ラッピング車両整備事業</p> <p>○ 事業実施主体 北海道余市町</p> <p>○ 事業の実施場所 余市町内</p> <p>○ 事業の実施期間 交付決定の日～令和 5 年 3 月</p> <p>○ 事業の内容と考え方 本町が令和 2 年 2 月に策定した余市町地域公共交通網形成計画に基づき、主に郊外部と市街地を結ぶ公共交通を運行するため、新規にアイヌ</p>

	<p>文様のラッピングを施した10人乗り程度のワゴン車両を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌラッピング車両は、郊外の生活館等を経由し、令和4年4月より新たに運行する予定の町内循環路線との接続や、新たにアイヌ文化の発信拠点となる新道の駅で他の路線と接続予定とすることで、郊外部の住民の買い物や通院といった生活の足となるほか、市街地の住民と郊外部の住民のコミュニティ活動の安定化・活性化及びワイナリー等の郊外部の観光客の誘客に寄与する。加えて車内に設置する予定のPRパンフレット等により、本町が有するアイヌ文化の歴史等への理解促進、普及振興を図る。</li> </ul>
<p>5 アイヌ施策推進地域計画における記載</p>	<p>4-3 観光の振興その他の産業の振興に資する事業</p> <p>■定額タクシーによるアイヌ関連施設を巡る観光ルート周遊事業</p> <p>本町は、年間100万人超の観光入込があり、白老町にウポポイがオープンし道外や国外からのアイヌ文化に興味のある観光客が見込まれるこの機会に、よいち水産博物館と旧下ヨイチ運上家を定額タクシーの観光周遊ルートとして設定する。</p> <p>当地域は交通手段が脆弱で、両施設とも公共交通機関の利用に不便な場所にあるが、定額の料金を低く設定することにより観光タクシーの利用促進を図るとともに、アイヌ文化の理解促進や普及啓発を目指す。その際、タクシーの車両にアイヌ文様のステッカーを貼り、車内にはアイヌ文化のパンフレットを置くことにより、相乗効果を図る。アイヌ文様のデザインは町内の高校出身であるアイヌアーティストに依頼する。</p> <p>作成するアイヌ文様のデザインは、観光タクシーのステッカーに使用するほか、アイヌ関連施設、パンフレットなど幅広く活用することで、本町のアイヌ文化発信のシンボルとする。</p> <p>■アイヌ文様ラッピング車両整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本町の市街地と郊外地を結ぶ交通手段を確保するため、新規に10人乗り程度のワゴン車両を整備し、この車両にアイヌ文様のラッピングを施して運行する。</li> <li>・ アイヌラッピング車両は、新たにアイヌ文化の発信拠点となる新・道の駅やワイナリーといった観光スポットだけでなく、市街地の生活館の機能を有した施設を運行路線に組み込むことで、観光客の誘客に寄与するほか、アイヌの人々のコミュニティ活動の安定化・活性化といった生活の利便性を確保することができる。併せて、車内に設置する予定のPRパンフレット等により、日常的にアイヌ文化への理解促進、普及振興を図る。</li> </ul>
<p>6 事業の成果目標等</p>	
<p>(1) 成果目標の達成に向けた工程</p>	<p>(2) 地域・産業振興事業</p> <p>① 定額タクシーによるアイヌ関連施設を巡る観光ルート周遊事業</p> <p>定額タクシーのコースにアイヌ関連施設を入れることで観光客にアイヌ文</p>

	<p>化の理解促進や普及啓発が図られ、よいち水産博物館及び旧下ヨイチ運上家の来館者が増えると考えられる。</p> <p>②アイヌ文様ラッピング車両整備事業 新たにアイヌ文化の発信拠点となる新・道の駅やワイナリーといった観光スポットや、市街地の生活館の機能を有した施設の経由を前提に最適な運行ルートと運行形態を構築し、実証運行を行い、利用実態に合わせた交通手段とすることで、観光客の誘客に寄与するほか、アイヌの人々のコミュニティ活動の安定化・活性化といった生活の利便性を確保する。併せて、車内にPRパンフレット等を設置することで、日常的にアイヌ文化への理解促進、普及振興を図る。</p>
(2) 成果目標、(中間)目標年度(成果目標に対する現状値、及び成果目標の達成見込みについて記載すること)	<p>よいち水産博物館の年間来館者数 令和3年度 3,330人 令和4年度 3,480人(中間目標) 令和5年度 3,550人 令和6年度 3,780人(最終目標)</p> <p>旧下ヨイチ運上家の年間来館者数 令和3年度 4,540人 令和4年度 4,740人(中間目標) 令和5年度 4,830人 令和6年度 5,140人(最終目標)</p> <p>成果目標は達成する見込み。</p>
(3) 成果目標の確認方法	各 KPI について、実数値を公表するとともに、事業を実施する部局以外の役場管理職員で構成する評価委員会により、達成状況を確認・検証し、事業の効果的な実施を目指す。
7 地域の概要	
(1) 地域におけるアイヌ文化等の現状及び課題	<p>本町では古代から近世にかけての遺跡として余市川河口右岸の大川遺跡、左岸では入舟遺跡や天内山遺跡などがあり、発掘調査によって8世紀の擦文時代頃からサケ・マス漁を主体としたアイヌ民族の集落が営まれていたこと、中世においては本州からの陶磁器や金属製品が大量に出土することから交易が盛んであったことなどが推測される。</p> <p>また、本町にある旧下ヨイチ運上家は、アイヌ民族との取引を請け負った商人である林家が拠点とした施設で、現存する唯一の運上家という希少性の高いものであり、アイヌ絵や古文書等も多数残されている。また、余市町は北海道の西海岸で唯一といえるほど多くの民具資料が残されている貴重な地域でもある。</p> <p>しかし、今まではこれらの貴重な出土品や古文書等の文化財を保管しているのみであり、町民がアイヌ民族の文化に触れ合い理解する機会は少な</p>

	<p>かったと考えられる。</p> <p>今後ウポポイや本町の新道の駅が開業するこの機会に、アイヌ民族の貴重な文化財を適切に保存し展示できる施設を整備し、町民のみならず本町を訪れる人々に広くアイヌ文化の情報発信や普及啓発を行うことが必要と考えられる。</p> <p>また、その施設を巡る定額タクシーやコミュニティバスなどの交通機関を整備することで、アイヌ文化の振興及び観光や産業の振興に資することにより、アイヌの人々に対する理解を深めることに繋げ、次世代へと継承することでアイヌ民族の尊厳を守っていく社会を実現することが重要である。</p>
(2)施設等の管理運営体制	よいち水産博物館及び旧下ヨイチ運上家は、余市町が管理運営している。
(3)アイヌ関係団体及び地域住民の協力体制	公益財団法人アイヌ民族文化財団及び町内のアイヌ文化研究団体である余市郷土研究会と意見交換等を行う協力体制にある。

8 収支予算

(1) 収入の部

(単位:円)

区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較 増 減	
			増	減
国庫補助金	3,638,480	20,074,560	0	△ 16,436,080
市町村負担額	945,620	5,018,640	0	△ 4,073,020
その他	240,000	0	240,000	0
計	4,824,100	25,093,200	240,000	△ 20,509,100

(2) 支出の部

(単位:円)

経 費 区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較 増 減	
			増	減
地域・産業振興事業	4,824,100	25,093,200	0	△ 20,269,100
需用費	78,100	0	78,100	0
負担金補助及び交付金	0	0	0	0
工事請負費	0	25,093,200	0	△ 25,093,200
委託料	4,470,000	0	4,470,000	0
負担金	276,000	0	276,000	0
合 計	4,824,100	25,093,200	0	△ 20,269,100
需用費	78,100	0	78,100	0
負担金補助及び交付金	0	0	0	0
工事請負費	0	25,093,200	0	△ 25,093,200
委託料	4,470,000	0	4,470,000	0
負担金	276,000	0	276,000	0